

## 《2. 栄養・食生活》

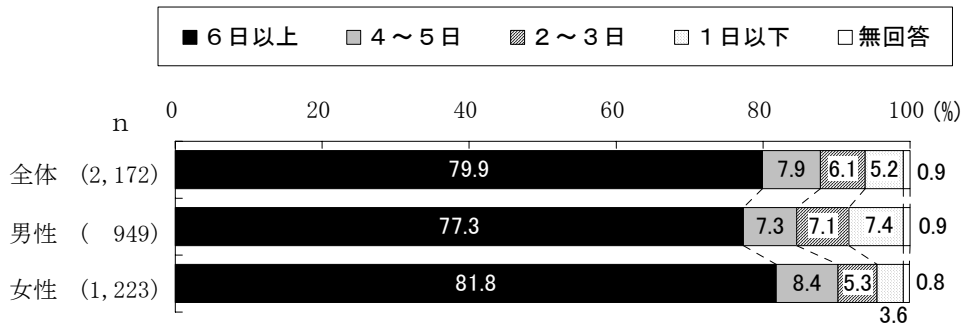
### 問1 1週間に朝食をとる日数

全体では、「6日以上」が79.9%で最も高くなっている。

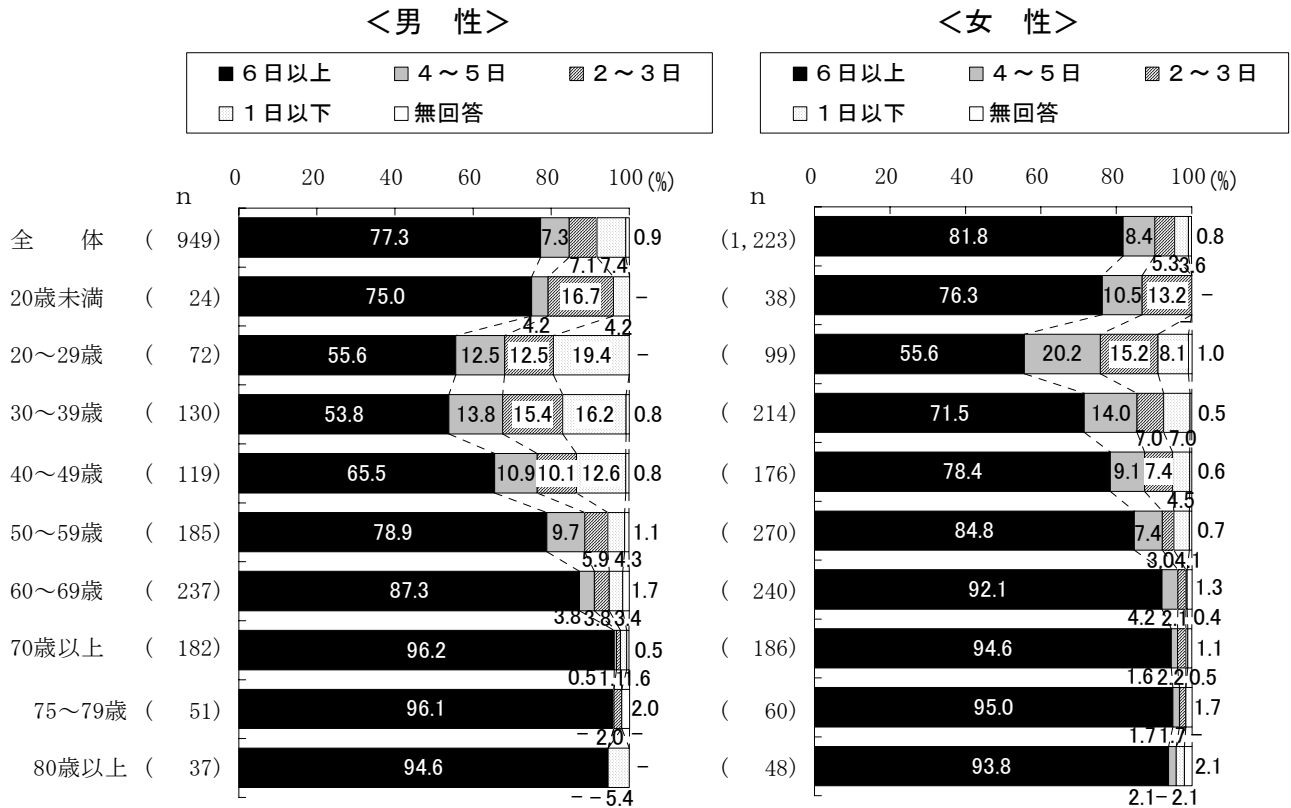
性別でみると、「6日以上」は、男性が77.3%、女性が81.8%で女性の方が4.5ポイント高く、逆に、「1日以下」は男性が7.4%、女性が3.6%で男性の方が3.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「6日以上」は、男性では70歳以上が96.2%、女性でも70歳以上が94.6%で最も高くなっている。また、「1日以下」は、男性の20～29歳で19.4%と高い。

問12 1週間に朝食をとる日数（全体・性別）



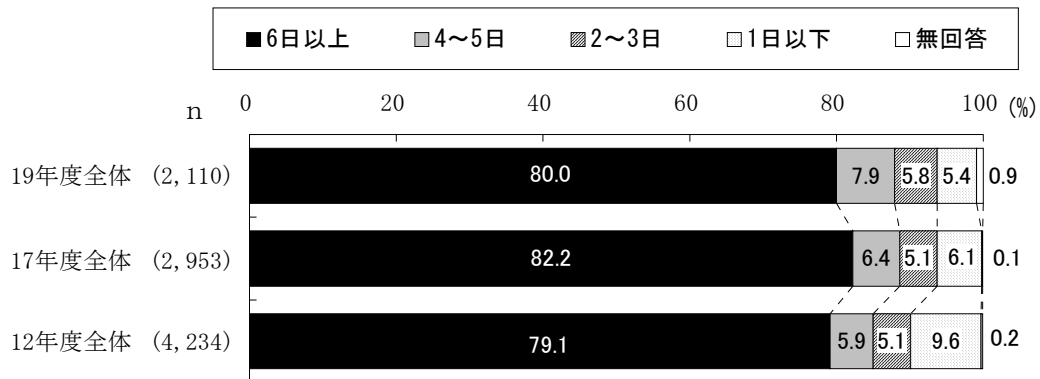
問12 1週間に朝食をとる日数（性/年齢別）



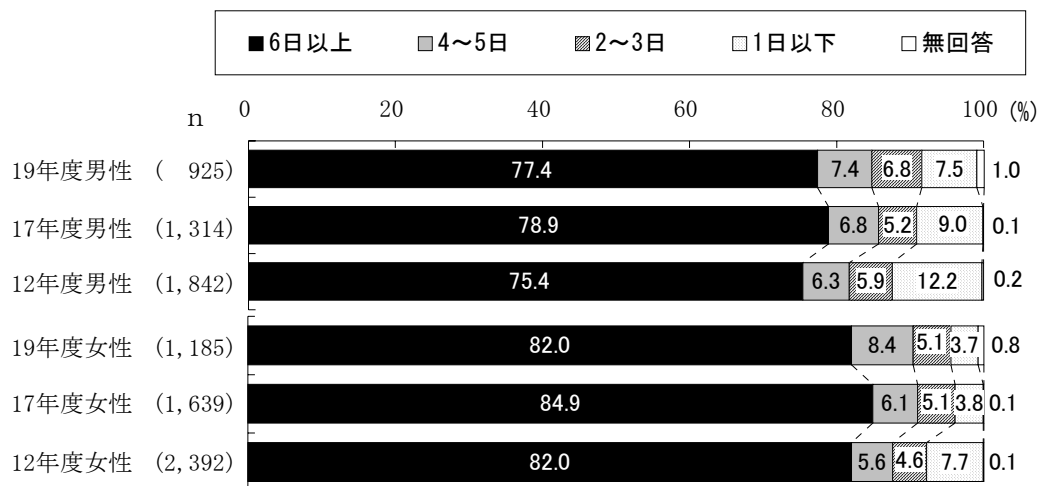
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても、「6日以上」が17年度から減少している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

1週間に朝食をとる日数（全体）



1週間に朝食をとる日数（性別）



※12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15~19歳の回答者数を除く。

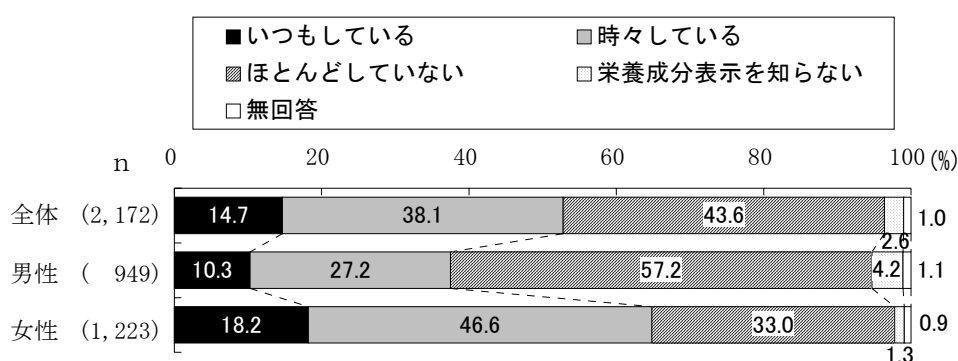
## 問2 外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度

全体では、「いつもしている」が14.7%、「時々している」が38.1%で、これら2つを合わせると、「《している》」は52.8%となっている。一方、「ほとんどしていない」が43.6%で最も高く、「栄養成分表示を知らない」が2.6%となっている。

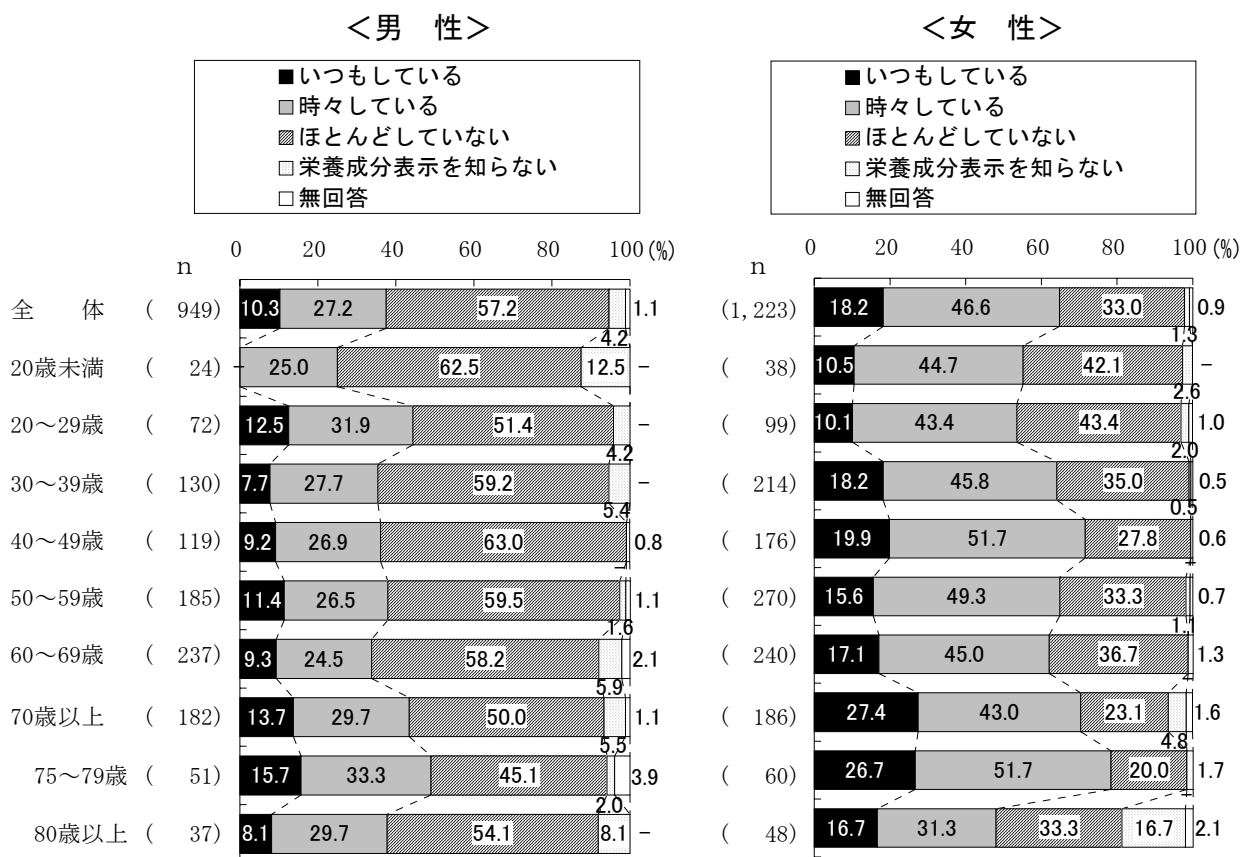
性別でみると、「《している》」は、男性が37.5%、女性が64.8%で女性の方が27.3ポイント高くなっている。逆に、「ほとんどしていない」は、男性が57.2%、女性が33.0%で男性の方が24.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「《している》」は、男性では20～29歳が44.4%で最も高く、70歳以上が43.4%となっている。女性では40～49歳が71.6%で最も高く、70歳以上で70.4%となっている。また、「ほとんどしていない」は、男性では40～49歳が63.0%で最も高く、20歳未満で62.5%となっており、男性の20歳未満は「栄養成分表示を知らない」が12.5%となっている。

### 問13 外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（全体・性別）



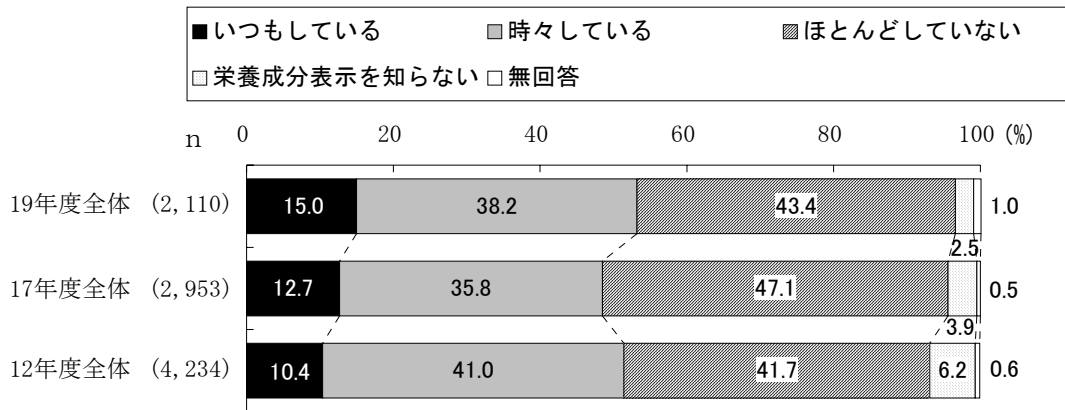
### 問13 外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（性/年齢別）



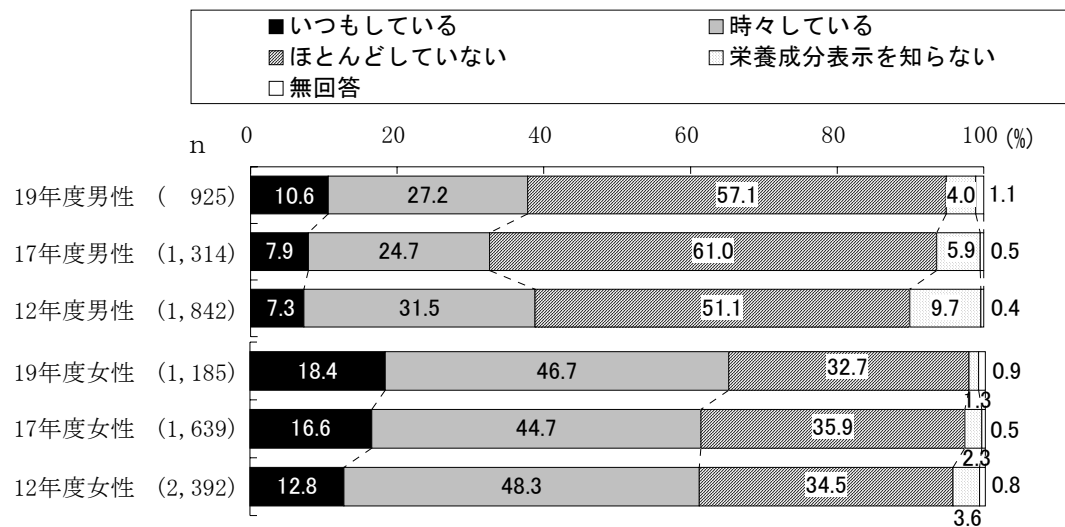
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても「いつもしている」が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（全体）



外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする程度（性別）



※12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

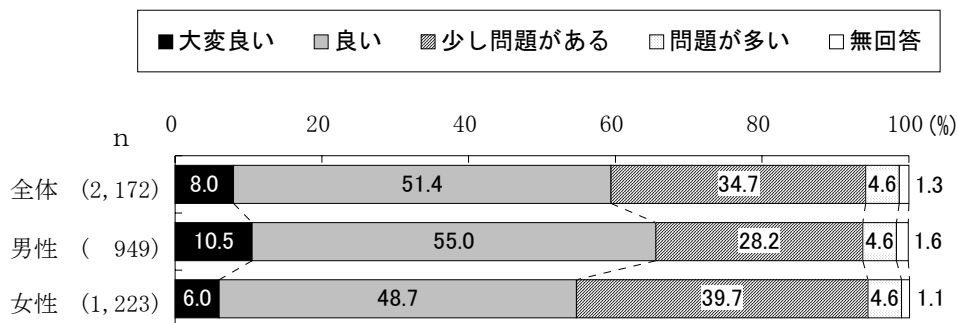
### 問3 現在とっている食事について思っていること

全体では、「大変良い」が8.0%で少数ながらも、「良い」が51.4%で最も高く、これら2つを合わせると、《良い》は59.4%となっている。一方、「少し問題がある」が34.7%、「問題が多い」が4.6%で、これら2つを合わせると、《問題がある》は39.3%となっている。

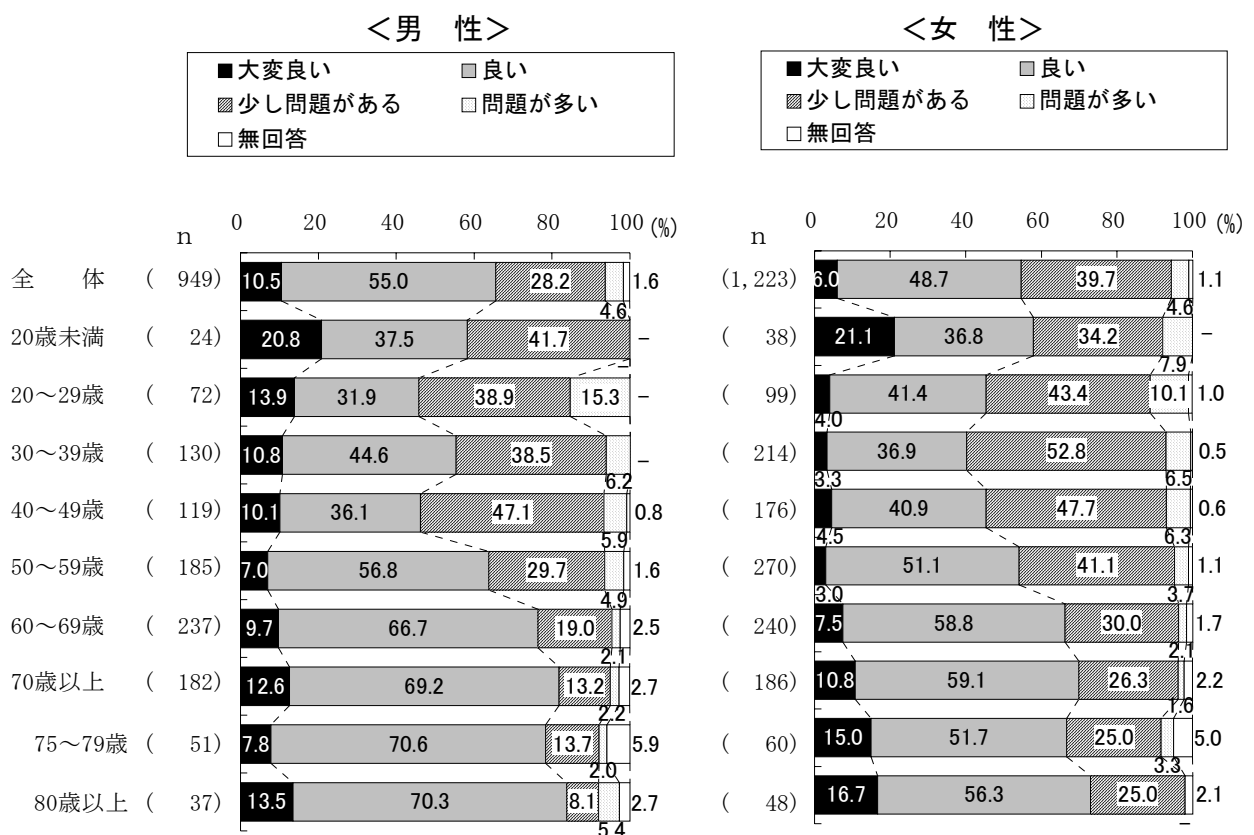
性別でみると、《良い》は、男性が65.5%、女性が54.7%で男性の方が10.8ポイント高く、逆に、「少し問題がある」は、男性が28.2%、女性が39.7%で女性の方が11.5ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「大変良い」は、男性では20歳未満が20.8%、女性でも20歳未満が21.1%で最も高くなっている。《良い》としてみた場合、男性の70歳以上は81.8%と高い。「少し問題がある」は、男性では40～49歳が47.1%、女性では30～39歳が52.8%で最も高くなっている。

問14 現在とっている食事について思っていること（全体・性別）



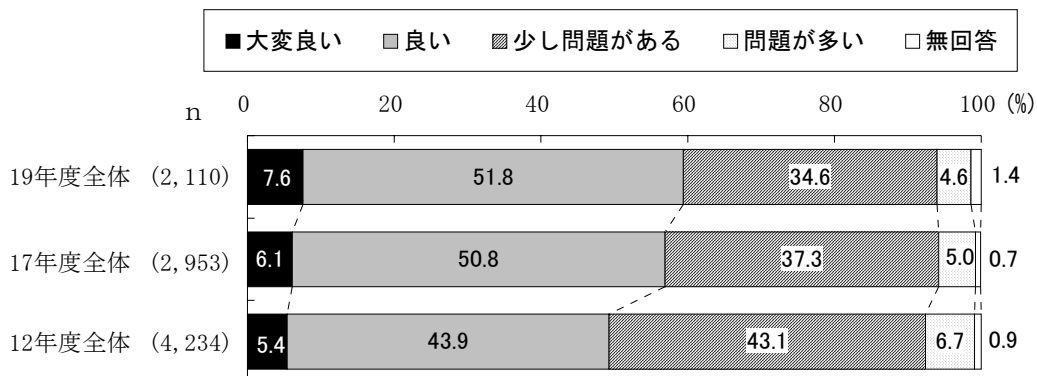
問14 現在とっている食事について思っていること（性/年齢別）



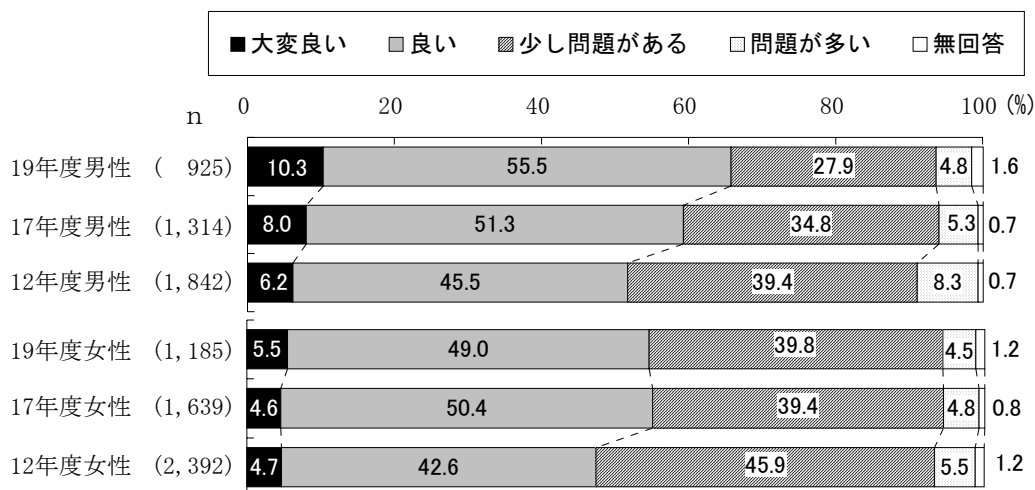
12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体と男性で、《良い》が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】

現在とっている食事について思っていること（全体）



現在とっている食事について思っていること（性別）



※12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。

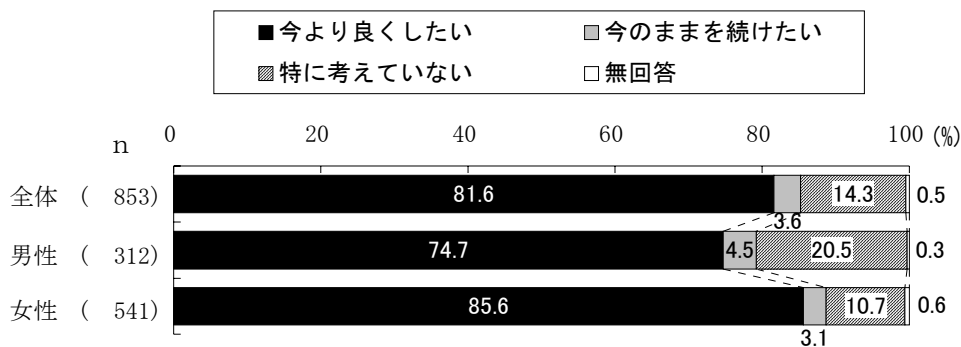
## 問14-1 食事に関する今後の考え

現在とっている食事を「少し問題がある」か「問題が多い」と回答した人（853人）に、今後の考えをたずねた結果、全体では、「今より良くしたい」が81.6%と最も高くなっている。

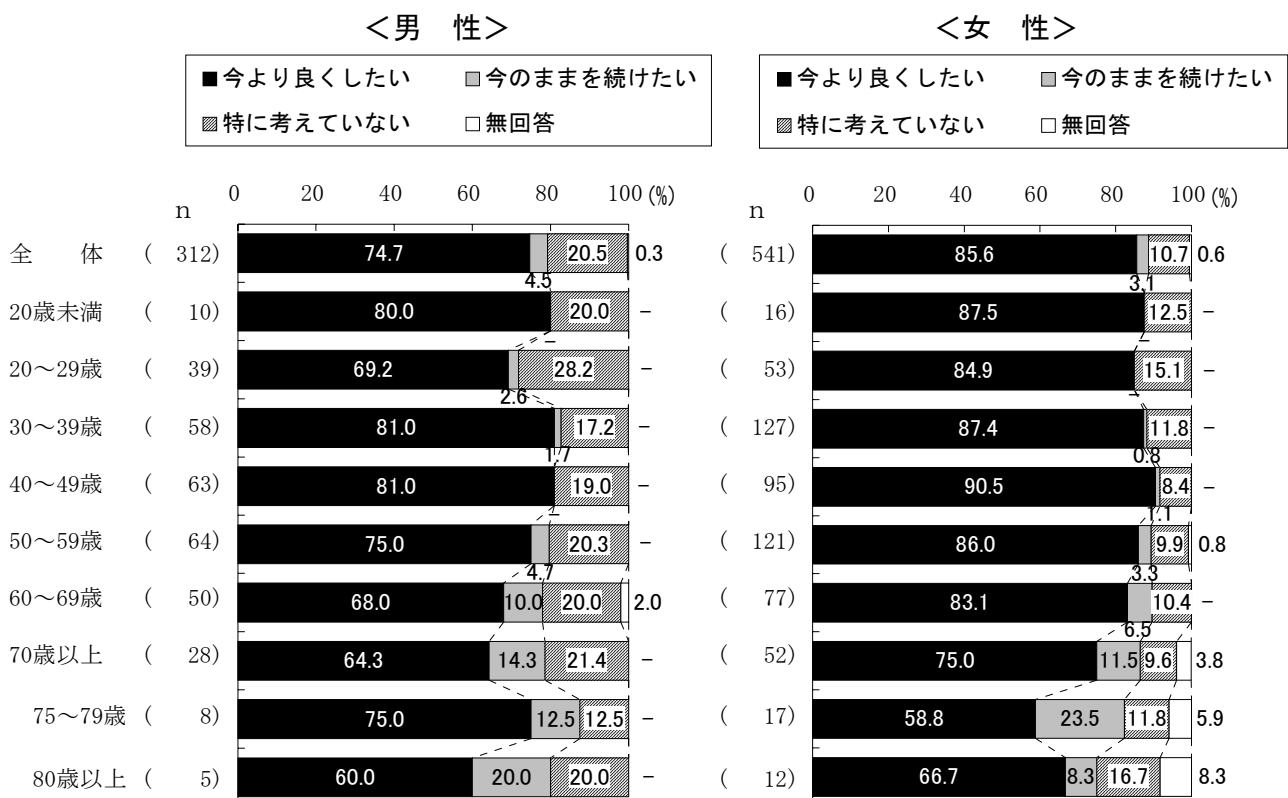
性別でみると、「今より良くしたい」は、男性が74.7%、女性が85.6%で女性の方が10.9ポイント高くなっている。逆に、「特に考えていない」は、男性が20.5%、女性が10.7%で男性の方が9.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「今より良くしたい」は、男性では30～39歳と40～49歳が81.0%、女性では40～49歳が90.5%で高くなっている。

問14-1 食事に関する今後の考え（全体・性別）

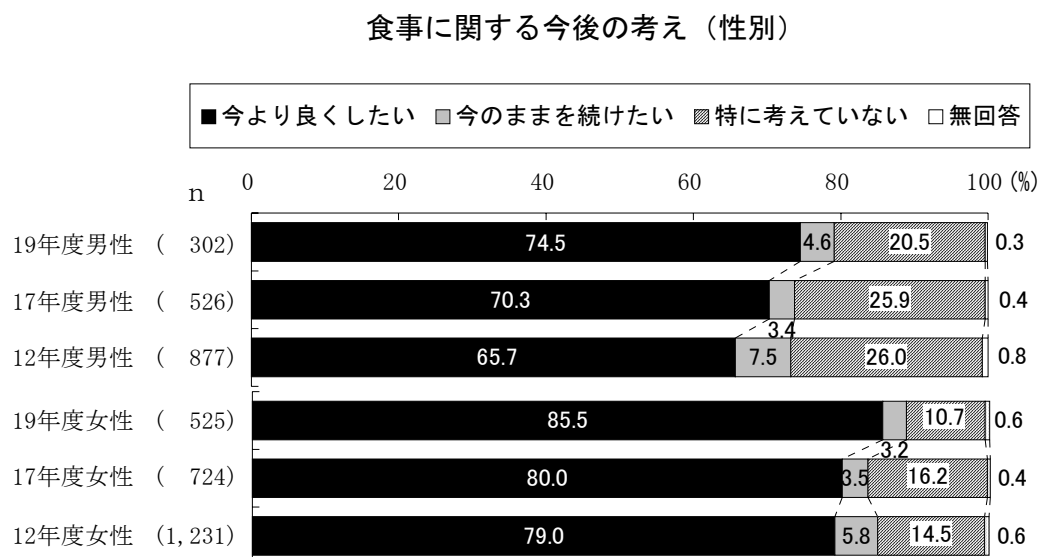
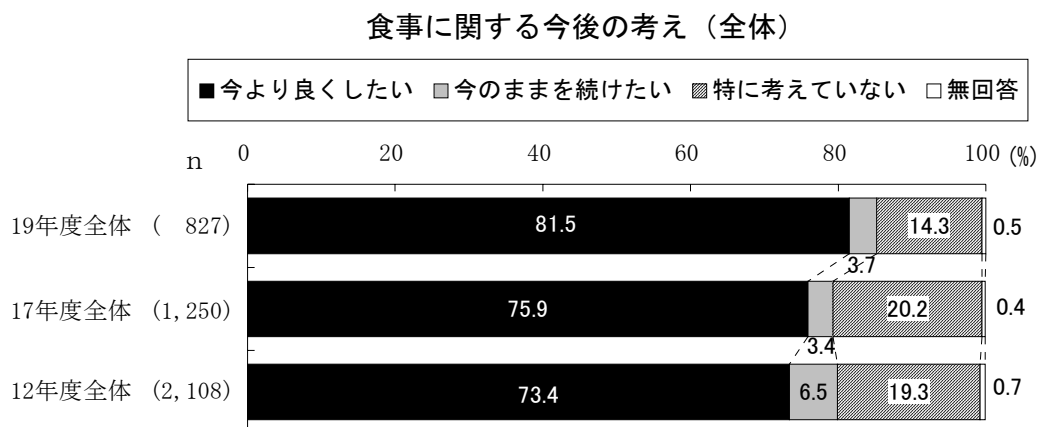


問14-1 食事に関する今後の考え（性／年齢別）



12年度及び17年度調査結果と比較すると、全体、性別のいずれにおいても「今より良くしたい」が調査ごとに増加している。

【平成12年度・17年度調査との比較】



※12年度調査との比較のため、17年度と19年度は15～19歳の回答者数を除く。